

内視鏡専門医が最新機器で検査 痛みなどの負担をなるべく軽減



さっぽろ南大橋クリニック
東札幌院
院長
柴田敬典

2024年7月に開院したクリニックです。消化器病、肝臓および消化器内視鏡学会専門医が消化器全般を診察し、胃カメラ、大腸カメラ、CTなどは鮮明に検査できる最新機器を取りそろえています。胃カメラは、鼻から挿入する経鼻内視鏡にも対応しており、口から挿入するよりも嘔吐反射が抑えられるなど、患者さんの負担を極力軽減するよう配慮しています。

大腸カメラは腸を可能な限り伸ばさないよう内視鏡を奥まで挿入する軸保持短縮法で行います。経験豊富な内視鏡医でない
と難しい方法で、痛みが少ないのが特徴で

です。検査時にポリープが見つかった際には、小さいものであればそのまま日帰りで切除することが可能です。

胃、大腸ともに苦痛を少なくするよう、鎮静剤を使用し、眠ったままの検査が可能です。また、二酸化炭素ガスによって検査時と検査後のお腹の張りがかなり軽減されるなど苦痛の少ない治療法を提供しています。検査後はリカバリールームでゆっくりと休憩した後、結果を報告。札幌市の胃がん検診、企業健診で要再検査と判断された際などにご活用ください。

CT検査は予約不要で、診察時に必要と判断した場合はすぐに撮れます。内視鏡検査は予約制で、WEB予約も可能ですが、急な症状や激しい痛みなどの場合は、予約なしでも受け付けます。本院と同様、完全個室の透析室20床もご用意しています。